



足立区政ニュース

THE ADACHI KUSEI NEWS

發行
 足立區千住一ノ五〇
 東京都足立區役所
 足立區長大山雅二
 編輯
 總務課文書係
 淺草440
 足立3847

第二回 足立區議會

臨時會開會

本年第二回足立區議會(臨時會)は三月二十八、二十九の兩日に亘つて開會された。會議の模様は次の通りである
 「監査委員報告」：(一)區立中、小學校事務監査；(二)民生館民生事務所の事務監査；(三)三月十五日執行の例月出納検査、の結果について夫々報告が行われた
 「常任委員長報告」教育委員長より、教員住宅建設について報告が行われた
 「質問」一般區政についての質問通告者鯨岡議員より
 「區の財政及び之に對する區長の根本方針」について質問が行われ區長より答辯があつた。
 「議事」
 今回の提出案件は昭和二十

足立論壇

自治法規を

區政に求めて

冀に東京都各區は一變した其本主義の上に立脚する新憲法施行と同時に舊法を綜合調整された地方自治法によつて他の市に觀られる様な市の下に在る行政區劃に止まる區ではなくして獨り法律上政市に相當すべき地位を有する法人として自己の目的を有し自己の歳入歳出を以て自己の事務を

「質問」一般區政についての質問通告者鯨岡議員より
 「區の財政及び之に對する區長の根本方針」について質問が行われ區長より答辯があつた。
 「議事」
 今回の提出案件は昭和二十

本年第二回足立區議會(臨時會)は三月二十八、二十九の兩日に亘つて開會された。會議の模様は次の通りである
 「監査委員報告」：(一)區立中、小學校事務監査；(二)民生館民生事務所の事務監査；(三)三月十五日執行の例月出納検査、の結果について夫々報告が行われた
 「常任委員長報告」教育委員長より、教員住宅建設について報告が行われた
 「質問」一般區政についての質問通告者鯨岡議員より
 「區の財政及び之に對する區長の根本方針」について質問が行われ區長より答辯があつた。
 「議事」
 今回の提出案件は昭和二十

本年第二回足立區議會(臨時會)は三月二十八、二十九の兩日に亘つて開會された。會議の模様は次の通りである
 「監査委員報告」：(一)區立中、小學校事務監査；(二)民生館民生事務所の事務監査；(三)三月十五日執行の例月出納検査、の結果について夫々報告が行われた
 「常任委員長報告」教育委員長より、教員住宅建設について報告が行われた
 「質問」一般區政についての質問通告者鯨岡議員より
 「區の財政及び之に對する區長の根本方針」について質問が行われ區長より答辯があつた。
 「議事」
 今回の提出案件は昭和二十

本年第二回足立區議會(臨時會)は三月二十八、二十九の兩日に亘つて開會された。會議の模様は次の通りである
 「監査委員報告」：(一)區立中、小學校事務監査；(二)民生館民生事務所の事務監査；(三)三月十五日執行の例月出納検査、の結果について夫々報告が行われた
 「常任委員長報告」教育委員長より、教員住宅建設について報告が行われた
 「質問」一般區政についての質問通告者鯨岡議員より
 「區の財政及び之に對する區長の根本方針」について質問が行われ區長より答辯があつた。
 「議事」
 今回の提出案件は昭和二十

本木町二丁目一五〇八番地に位置を變更した。
 一、一時借入金借入の件
 昭和二十四年度豫算執行に於て一時的に歳計現金が不足した場合應急措置として一千五百萬圓の範圍内で借入れを行うことが出来ることとした。
 一、昭和二十三年度東京都足立區歳入歳出追加豫算
 教育費、區役所費その他の經費として都から交付金、補助金が交付されたので、此の總額四百九十三萬九千四百七十五圓を追加豫算として提出原案通り可決となつた尚この追加額を合算して昭和二十三年度の豫算總計額は一億四千七百七十八萬九千九百四十五圓となる

ればならないことと思われ併し斯様な根本的破綻事情は論外に措いて實際の機構の中で自治事務事業を萬全に遂行する手段としては自治法規に則る徹底した専門知識を擁じてのみその領域が保たれるのである。
 併してその自治事務事業の専門知識を保持するには専門外のその他の領域との關係が如何にあるべきかを充分に理解して掛らなければならないのである。
 所謂自治法規の本質が法本来の前提する場、即ち社會生活の精神的にも物質的にも密接不可分の相互の關連性を土台

一、昭和二十四年度東京都足立區歳入歳出豫算
 昭和二十四年度當初豫算として別項掲載の通り總額一億八百七十九萬二千三百三十二圓を提出原案通り可決になつた。
 一、足立區臨時出納検査立合人選任の件
 地方自治法に定められて居る區臨時出納検査は過般の第一回目が監査委員によつて行われたが近く第二回目の検査が實施されるのでこの検査の立會議員三名を左の通り選任した。
 伊藤 鶴藏氏
 田幡 義雄氏
 宮入 五郎氏

としてその區民意識活動を規正する以上その社會的性質を考慮しなければならぬ併して二十世紀に構成せられた自治法規としては勿論住民一般の共同の利益になることを相互の創意と工夫とで力と責任とを分け合つて圓骨に運營し得る手段として存在理由が認めらるるが自治事務事業の領域に培はれた眞に廣くして深い教養によつて現在の區民生活を如實に見直しそれは技巧的な人工的な自治法規の操作ではなく社會連帶並びに生存權の法規として成立つものでなくてはならない。
 尙又自治法規は單なる住民の

新年度豫算について
 議員總會開かる
 此の四月一日から昭和二十四年の新會計年度が初まり之に對する豫算は三月二十八日に開會された區議會議の議決を経て成立した。
 處で新年度豫算は國及び都財政の影響を受ける爲本格豫算としての提出は困難で一應骨格豫算として編成されたものであるさりながらその豫算總額は一億圓を越ゆる尅大なものとなるので議會側に於ては三月十五日及び十九日の兩日に亘つて議員總會を開會その編成の萬全を期する爲理事者側と種々協議を行つた

婦人地位の向上を妨げているものは何か?

先ず婦人自身が自覚せぬばならぬ

自四月十日
至四月十六日 **婦人週間**

労働省婦人少年局長自唱で四月十日から十六日に至る一週間婦人週間が開催される。これは新憲法及びこれは基く種々の法令によつて法律的には一應男女の平等が保證されたが現實には法律の規定が充分に理解されていず、婦人自身の自覚も乏しく、更に各方面に残存する封建性のために経済的、社会的、政治的に婦人の地位は必ずしも従来に比

生活合理化の烽火あがる

「生活協同組合大会」

本區には現在生活協同組合として地域組合が九、職域組合が三設立されているが、本區の如く多数の人口を擁している区としてはそれらの組合員数は尠な過ぎるし、業務内容も一、二の組合を除いては良好ではない、今年からは所謂經濟九原則が施策の上に嚴格に遂行されるので、庶民生活は終戦この方極度の困窮の中に喘いできたのだが、今年からは従来以上に生活水準の低下が強行されること、なつて困窮の度合は一段と深刻化する事が豫想されるし、又野菜を始めとして今後生活必

の四者主催で足立區生活協同組合大会が開催された。大会は齋藤助役、丸岡協議員長の挨拶に續いて、参議院議員奥むめお女史の「物價引下げと生活協同組合」、生活協同組合連盟本部の川崎すみえ女史の「婦人と生活協同組合」と題する講演があり引續いて浪曲、奇術、萬才、歌謡曲等の余興があり、多大の成果を収めて四時半閉會したなお當日は右の他に、天反野南町、

都営住宅申込決果

- 去る十七日から十九日迄の三日間受付しました第四回都営住宅の申込者は五〇〇〇圓の定額貯金の負擔にもかゝらず一、〇四八名の多数に上り今さらながら深刻な住宅難をものがたつています
- 又區内の申込者を住宅別に分けますと
- 1 北三谷町(足立區、割當一〇戸) 四八八名
 - 2 新田下町(足立區割當二四戸) 一八二名
 - 3 上沼田町(足立區、割當五戸) 六五名
 - 4 戸山町(新宿區、割當四四戸) 一五一名
 - 5 西ヶ原(北區、割當八戸) 五三名
 - 6 西巢鴨(豊島區、割當四戸) 二四名
 - 7 南砂町(江東區、割當四八戸) 二四名
 - 8 世田谷四(世田谷區、割當九戸) 一名
 - 9 大井町(品川區、割當五戸) 九名
 - 10 大島四(江東區、割當一戸) 九名
 - 11 下赤塚(板橋區、割當二九戸) 八名
 - 12 木根川(葛飾區、割當七戸) 四名
 - 13 板橋六(板橋區、割當七戸) 六名
 - 14 志村町(板橋區、割當五戸) 三名
 - 15 前原町(中野區、割當三戸) 二名
 - 16 沼袋町(中野區、割當六戸) 二名
 - 17 要町(豊島區、割當五戸) 二名
 - 18 鎌倉町(葛飾區、割當一〇戸) 二名
 - 19 小岩(江戸川區、割當三戸) 二名
 - 20 調布(北多摩、割當一〇戸) 二名
 - 21 国立(北多摩、割當五戸) 二名
 - 22 以下略

千住櫻木町、本木町二丁目、千住末廣、若松、千住大川町、東、西新井、梅田、大谷田、堤北、城北、日立龜有、日皮、日靴等加盟十二組合出品の日用品廉賣會が開催さ、参會の非組合員にも「成程組合の品は廉い」という感銘を興え、豚肉が六十匁七十六匁、學童用二重手提、ツツカ靴か三匁三十匁という値段だつたので忽ちにして、賣り切れてしまふという状況であつた。

以上の幸運の入居者を決める抽籤會は

- 一、足立區割當分は 足立區役所區議會會議事堂
- 二、其の他一般割當分は 千代田區役所(神田)内 千代田區公會堂(三階) 千代田區公會堂(三階)

に於て四月八日午前十時より何れも申込者立會の上公開抽籤を行います。

夏時間豫定通

サンマータイム

四月二日眞夜中からことしのサンマータイム

昨年夏時刻法が制定され五月二日から九月十一日まで行われ、賛否兩論のうちにもその期間内に電力一日の總使用量の〇、五%石炭換算六萬六千トンを節約した実績を挙げたことにも豫定通り四月二日(土)の眞夜中の十二時から愈々サンマータイムに入つたが電力節約と日光利用ひいては國民保健の見地からもこの期間の明るい生活が期待される

井口整形 外科病院

元方面 館跡 赤門 隣

興野電氣商會

興野 隆

千住旭町七三

入澤工務店

入澤 實

千住旭町七三 (電足三七三一呼)

狭山砂川園

店主 小林勇太郎

千住壽町七七 電話足立二八七九

茶

良い茶 よい海苔

出張所素描

第一出張所

町の明理化は先ず 防犯から

第一出張所は足立区の東南隅に位置し常磐線と荒川放水路にはさまれた一、二、三、四方軒の南北に細長い土地に千住關屋町千住曙町千住東町千住旭町の四町があつて管内には吾婦製鋼、伊藤製作所、高崎板紙、専賣局足立工場、日新工業等の大工場をもち區議會議員二名、民生委員八名、物價監視員四名の名譽職をだしている管内三、五〇〇世帯を二階堂所長以下十名の職員でこれに當り内一部は毎日地域的の關係から千住旭町にある千住關屋民生事務所に出張し檢印事務に當つてゐる。

この出張所管内の特色は町の有識者が防犯思想の普及に能動的で防犯協會、母の會、子供會等組織しあらゆる機会をとらえ懸命に活躍してゐる。就中子供會は地域有志の協力

助産婦、看護婦の試験

昭和二十四年第一回助産婦、看護婦の試験が次の要領で行われます。

なお受験願書はそれぞれ助産婦係、看護係へ請求して下さい。

一、助産婦試験

- (イ) 學說試験
 - 日時 五月一日(日) 午前九時—十二時
 - 場所 都立京橋高等學校(銀座西五ノ四)
 - (ロ) 實地試験
 - 日時及場所 筆記試験發表當日揭示する

(ハ) 願書受付

- 期間 四月二日—二十日
- 場所 都衛生局看護課助産婦係
- (丸ノ内三ノ一)

(ニ) 受験料

金二百圓

(イ) 筆記試験

- 日時 五月八日(日) 午前九時—十二時
- 場所 都立京橋高等學校(銀座西五ノ四)

(ロ) 口述試験

- 日時及び場所 筆記試験當日試験場に揭示する

(ハ) 願書受付

- 期間 四月一日—二十日
- 場所 都衛生局看護課看護係
- (丸ノ内三ノ一)

(ニ) 受験料

金百五十圓

お断り

本紙八號で發表した「愛の運動」二十三年度共同募金成績の中千住民生事務所管内の町名中に千住仲町が脱落したので訂正をいたします。

配給だより

茹麵の配給

三月から實施した茹麵(ゆでめん)の配給所は次の通り

- 岩出 平一(旭六八)
- やぶ昇 鈴木 昇平(旭八〇)
- 柳屋 飯島 松治 (柳原一五三)
- 野澤屋 野澤 知治 (柳原一六六)
- 満壽屋 千野午四郎 (柳原二三二)
- あま清 關 千代松 (千住仲八一)
- 新潟屋 小林近之助 (千住一ノ八四)
- 柏屋 沼崎幾太郎 (千住二ノ三二)
- 柳屋 關谷 安一 (千住三ノ三六)
- 中川屋 宮澤 榮作 (千住五ノ六八)
- いづみや 島田淺五郎 (千住壽二四)
- 壽屋 鈴木 菊治 (千住大川七一)
- 稻廬屋 伏見 盛一 (本木一ノ一、〇八六)
- 伊藤製麵所 伊藤 寛 (本木四ノ四四九)
- 佐藤 庄一 (興野一五三)
- 田口屋 田口 キヨ (西新井一〇六一)
- そば久 篠田 繁藏 (島根一一一五)

やぶ盛 秋山 茂

桔梗屋 安部 正志 (長門三四八)

奴庵 田中 兼吉 (大谷田町一三九五)

新しい家庭用 酒類購入切符の交付

本年三月二十日現在の成年男女の方に新しい家庭用酒類購入切符を交付しますから主要食糧通帳又は外食通帳と認印持参の上出張所より受領して下さい。

ジャム壘詰の配給

家庭用品購入通帳第A五號券で砂糖入果實ジャムが配給になります。

配給量 一人より五人世帯 一本

六人以上 二本

配給期間 三月二十五日より

四月末日まで

配給價格(取引高税込) 一本につき

五五圓—一九〇圓



各種製紙機械専門設計製
各種高圧送水ポンプ設計製作
各種高圧送水ポンプ設計製作
各種高圧送水ポンプ設計製作

伊藤製作所
取締役社長 伊藤 音治
取締役 八島千代治
専務取締役 島田 正哉
東京都足立區千住東町三四
電話 浅草 〇三三三番
電話 足立二〇一八番

土地測量 建築設計出願

小山工務所

建築士 小山 昇
千住壽町五五
電足二六七二

土地建築設計 建築出願代理 土地測量

コスゲ工務所

小 菅 茂
千住末廣町二五
末廣町消防署通り

迅 襖表装 對立
速 金銀、屏風
叮 其の他一式請負
嚙 御一報次第参上 致します

清水表装店

千住高砂町一二二
元三軒家通り土手際

在勢 世帯 五九、五四五 前月より三五一世帯増

一日の現 人口 二五〇、〇二五(男 一二六、六二二 女 一二三、四〇三)

三月の人口 前月より一、三七一人増

